

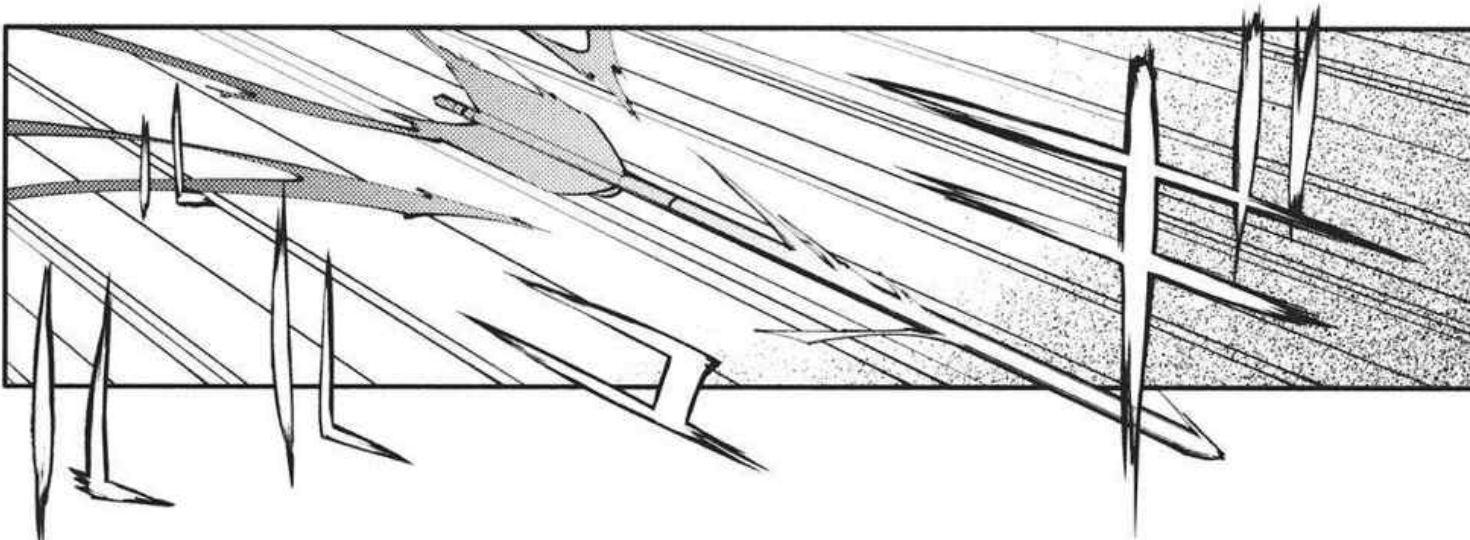


凧  
を  
係  
上

ア

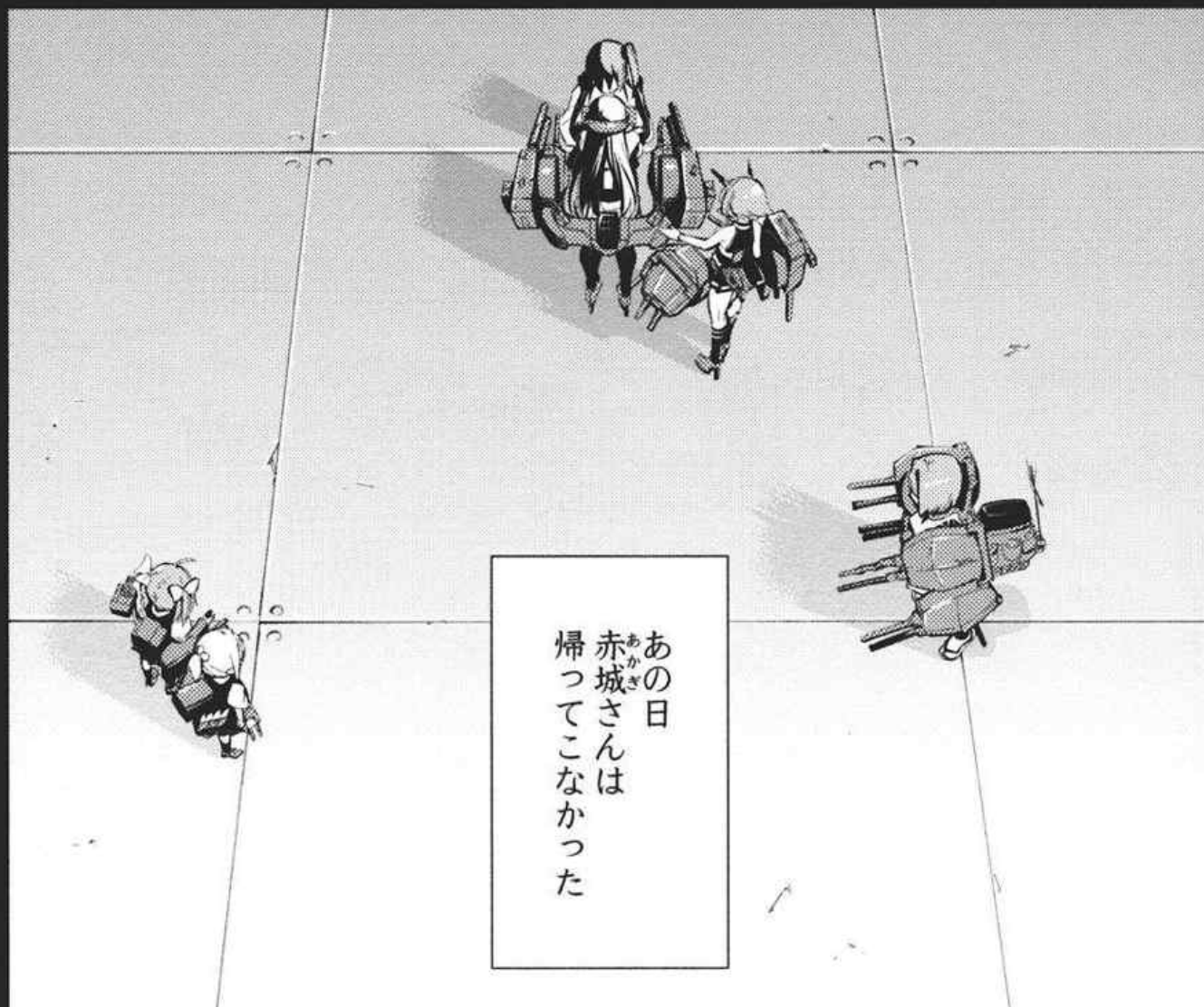
カ














底に沈んで  
いるんだろうか

波に漂って  
いるんだろうか

どうしたら  
あなたのところへ  
行けるの？

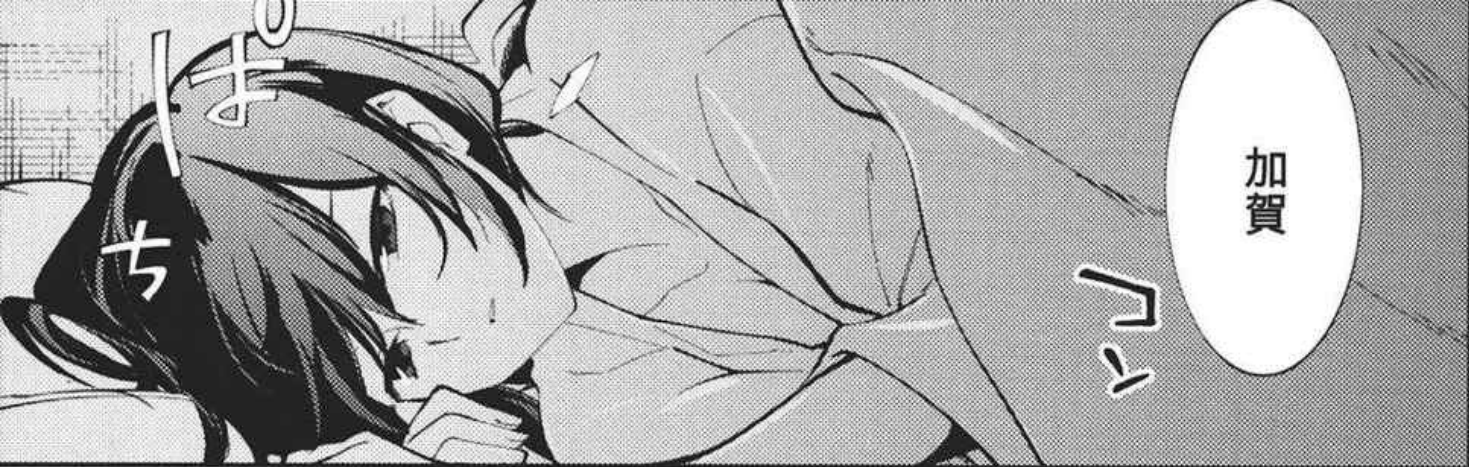
私の  
たったひとり



加賀

大好きよ

加賀



加賀



起きているか

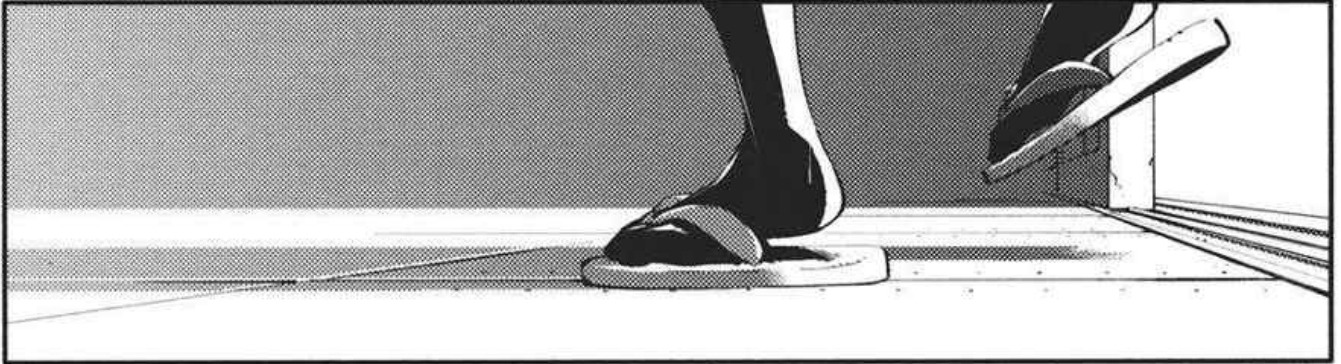
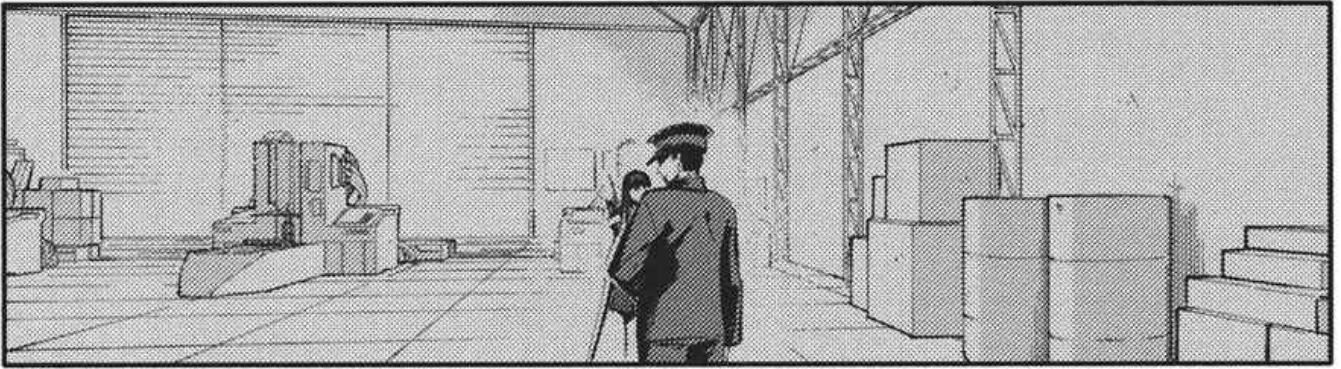
加賀



早くから  
ずまないな









赤城さん



よかった...

ガッ...

もう...  
落ち着いて



本当に  
あなたなの  
どうして...



わっ

赤城さん

ちよっと

赤城さん







あなたに  
教えて  
もらった  
ことよ

……



加賀も  
頼りに  
なるわね



本当  
赤城さんが  
戻ってきて  
良かったです！

赤城と加賀が  
揃ってると  
心強いネ！



轟沈並みの  
損傷による  
記憶障害だと  
提督は言った



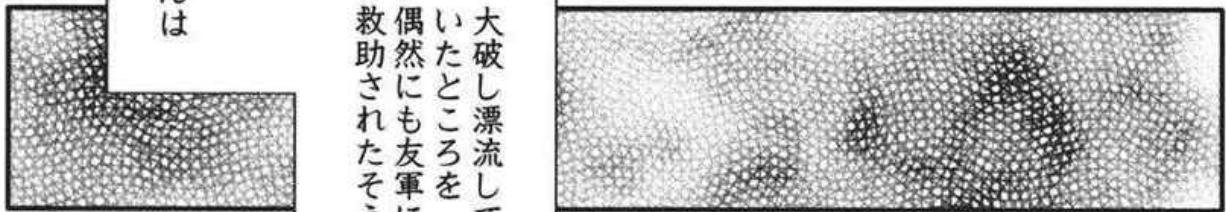
焦らずに  
ゆっくり思い出せば  
いいデスよ！

ええ  
ありがとうございます  
ございます

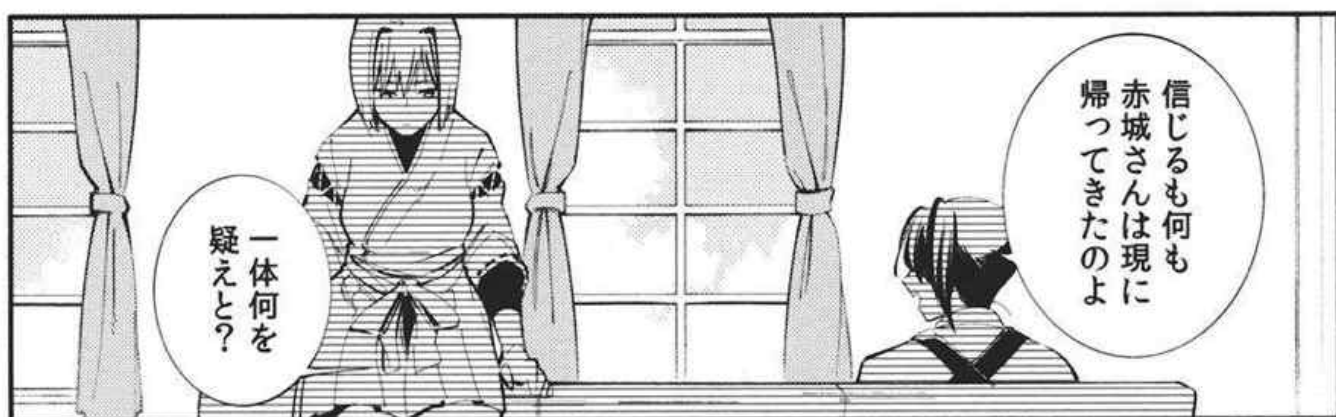


記憶喪失だ  
なんて  
びっくり  
しましたけど  
……









あなたも覚えて  
いるでしょう？

……

私たちは  
あまりにも  
知らないと思  
わないか？

深海樓艦の正体も  
自分が戦わなけれ  
ばならない理由も

何もわからずに  
命をかけて  
戦える

……  
何が言いたいの

きっと艦娘は  
そういう風に  
造られてるん  
だろうな

疑わない  
ように

加賀  
君もそうか？

……

記憶をなくしても  
赤城さんは  
赤城さんだ



赤城さんは  
美味しそうに  
ご飯を食べる

味の好みは  
以前と  
変わった



赤城さんは  
鍛錬を  
欠かさない

体に叩き込んだ技も  
記憶とともに  
失うものかしら



艦載機を愛し

仲間に優しく  
自分を律する

笑い声が違う

匂いが違う

誇り高い  
第一航空戦隊  
旗艦にして

歩き方が

振り向き方が

髪をかき上げる  
仕草が違う

唯一無二の  
私の僚艦

違う

違わない

…私の

赤城さんよ

軍司令部より  
出撃要請

空母機動部隊  
準備して  
ください





何も知らずに  
戦っている…  
たしかにそうね



水偵より  
入電!

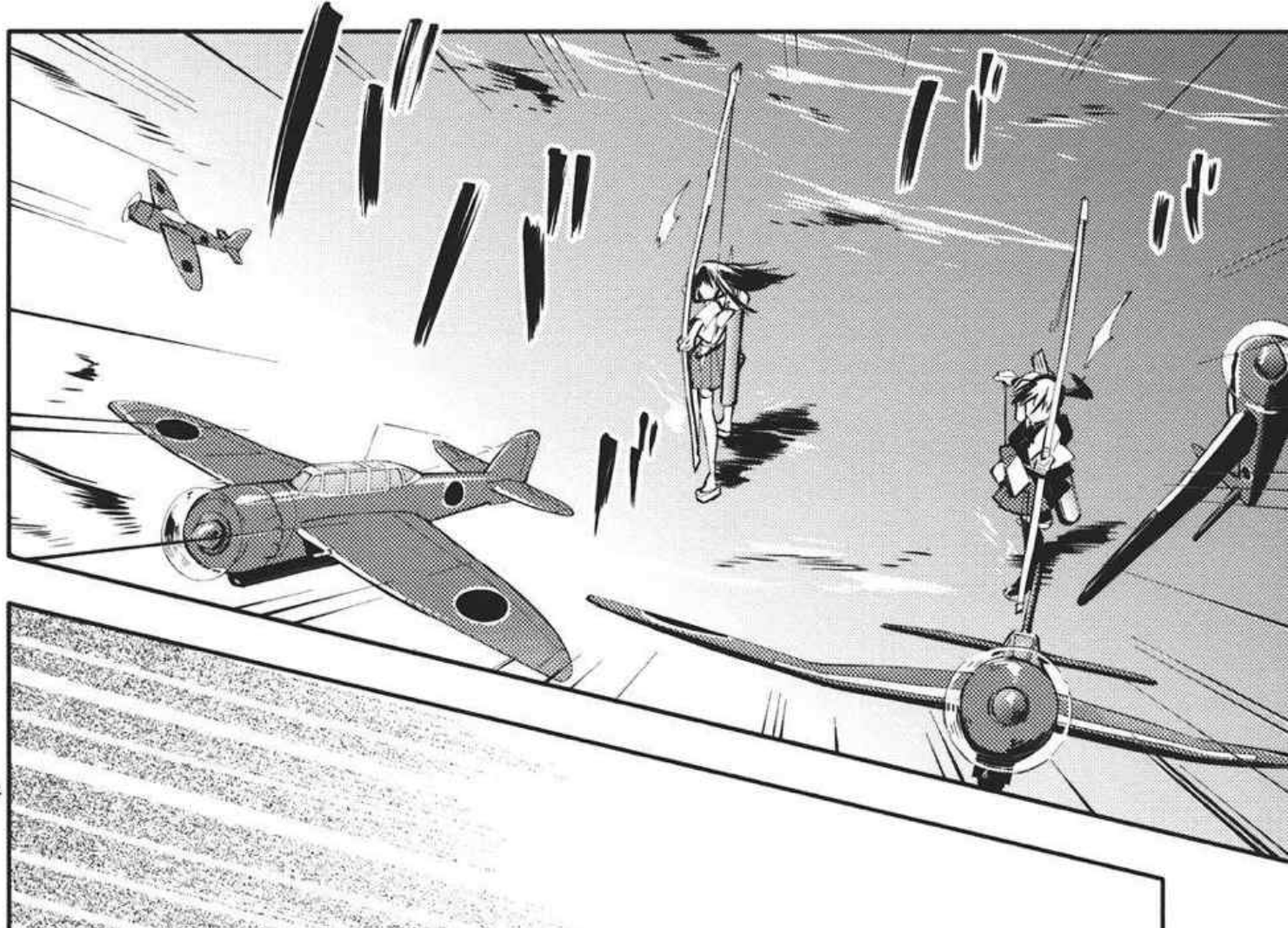
敵は空母ヲ級を  
中心とした  
機動部隊じゃ!

艦載機の発艦  
お願いします!



加賀  
行くわよ!

はっ  
ええ





援護する  
のです！



砲撃戦  
開始じゃな！



いなすま  
電！！

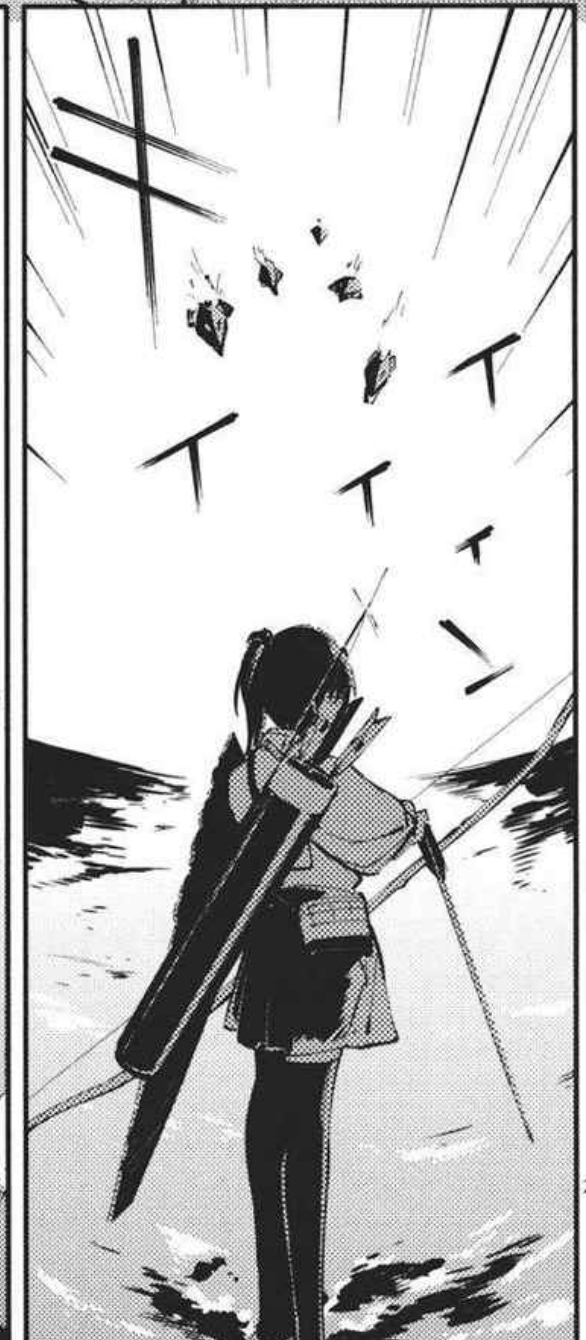














何してるの



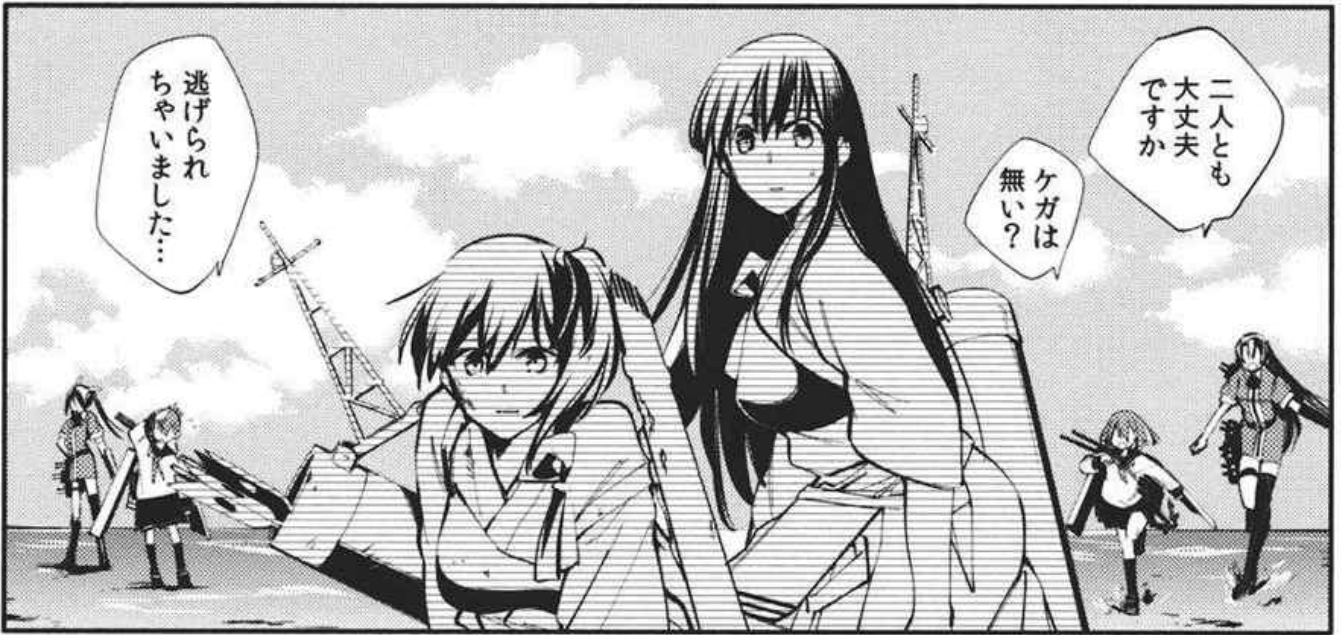
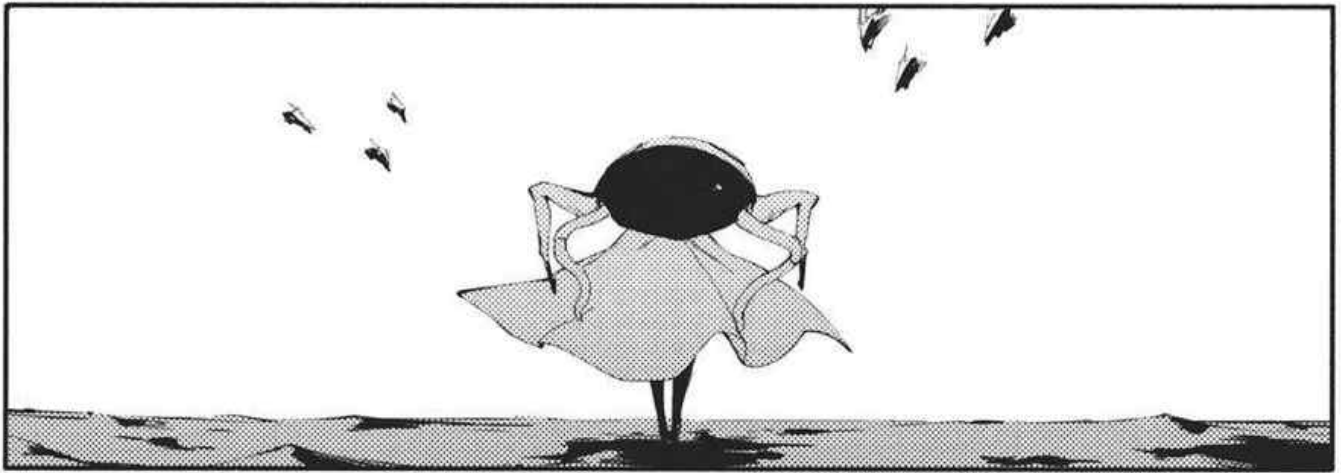
敵は…



え？





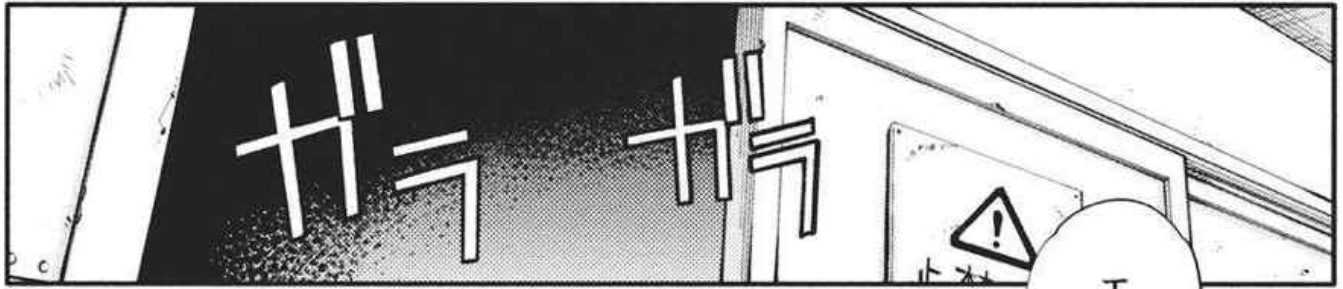
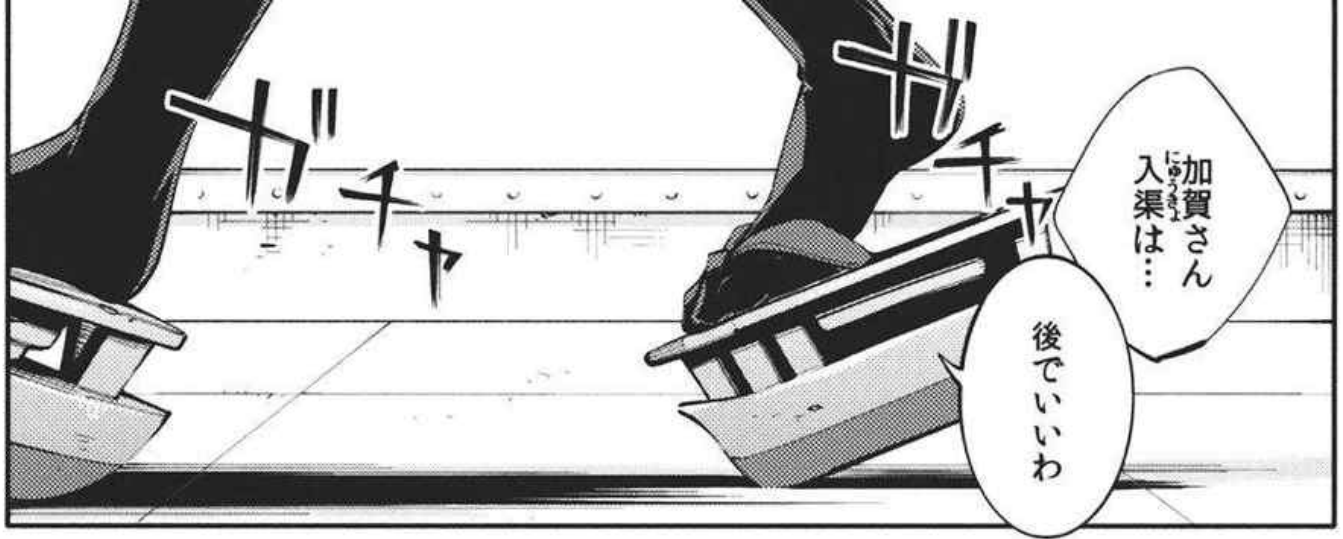


嫌よ…



認めたくはないのに







電



那<sup>な</sup>珂<sup>か</sup>



最上……？



ここは  
秘書艦以外  
立入禁止だ



加賀



知った顔  
ばかり……

同じ艦が二人？  
……もつと……？



……  
やっぱり  
そう  
だったの



……提督が  
すべて話す

来い



本当の

私の

赤城さんは

深海棲艦に  
なった



あの赤城さんは  
二人目なのね





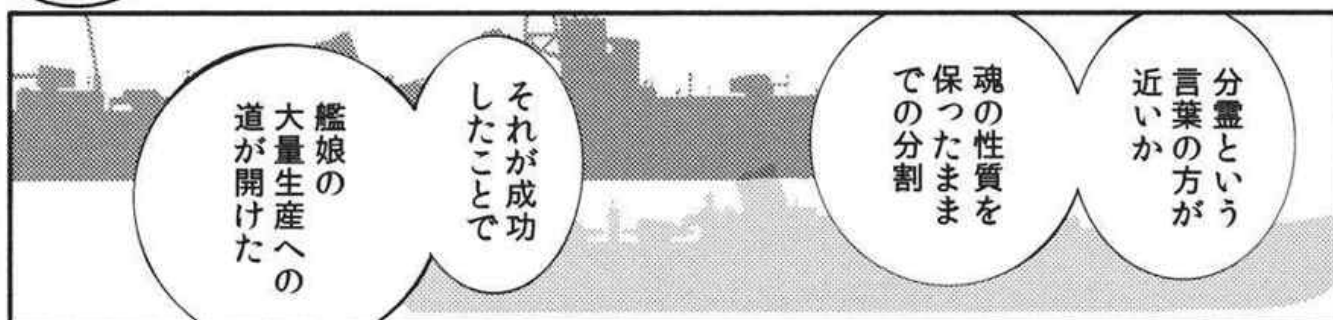


…それは  
知っているわ

だからこそ  
実在の艦の  
魂を持つ以上

私たちは  
一人きりだと  
思っていた

…我々は  
魂の複製に  
着手した



分霊という  
言葉の方が  
近いかな

魂の性質を  
保ったまま  
での分割

それが成功  
したことで

艦娘の  
大量生産への  
道が開けた



正確には  
「この艦隊で  
二人目の」だ

ほかの提督の下や  
ほかの鎮守府に  
何人の君や加賀が  
いるのかは分からん



そうして  
造られたのが私…

二人目の赤城



我々は  
戦い続け  
なければ  
ならない

そのためには  
数多くの  
艦娘たちが  
必要だからだ



なぜ  
そんなことを



……なぜ  
私たちが  
なければ  
ならないの  
ですか



赤城さんは  
何のために  
戦って  
沈んだんですか

なぜヲ級の  
姿になって  
現れたんですか

深海棲艦とは  
何者ですか



彼女らは  
未練だけが  
凝り固まった  
魂だ



深海棲艦は…

君らと同じく  
かつての艦船の  
魂から  
出来ている



加賀…



未練……？



体を得た彼女らは  
人類への攻撃を  
開始する



未練…怨念…  
残留思念とでも  
言うのか

それらに  
肉体を与える  
正体不明の  
システムが  
あるとき  
出現した



初期こそ  
不意を  
つかれたが

しよせんは  
過去の大戦期の  
艦船を  
モデルとした敵だ

現代の戦力を  
以つてすれば  
殲滅はできる



しかし彼女らは  
何度でも  
よみがえった

深海棲艦は  
未練なのだから

蹂躪しても  
無念は  
募るばかり

そして  
システムにより  
肉体は何度でも  
与えられる

わからない  
……しかし

必要なのは  
倒すのではなく  
満足させること

戦うために  
生まれた  
艦たちを  
満たすために

我々は  
「艦娘」という  
存在を  
造り上げたのだ

それでは  
戦いは

終わらない……？

源を同じくする  
魂を持ち  
同規模の  
兵装を備えた  
対等な敵との

命を懸けた  
戦いを  
供給し続ける



そうすること  
いつか彼女たちが  
眠れると  
信じて……



通常は  
深海棲艦の魂は  
いくつもの  
船の未練が  
混じり合った  
ものだそうだが……



沈んだ艦娘の魂が  
深海棲艦の体を  
得るケースは  
稀ながら  
報告されている



赤城をむさむさ  
沈めたことは……  
……本当にすまなかった



艦娘として  
生きたゆえに  
沈んでなお  
姿を留める  
ほどの思念を  
残したのか  
……



赤城……  
君にも  
すまなかった  
記憶喪失だ  
などと  
嘘をついて……

それは……  
ええ



大丈夫です

私は戦えます



あると思つて  
いた過去が本当は  
無かつたなんて  
…シヨックですけど

でも私の  
すべきことは  
変わりませんから

完璧な艦娘









自分にもしもの  
ことがあったら  
……と

そんなの

まるで  
沈むことを  
分かってた  
みたいなの……



赤城自身が  
そう望んで  
いたからだ



まさか  
そんなことは  
ないと思うが……

でも今にして  
思えば……

あの頃の赤城は  
ちよつとヘン  
じゃなかったか？



焦ってる  
っていうか……

闇雲に戦いを  
求めてる  
みたいなの……？



しかし我々は  
戦うために  
生まれたもので

赤城は特に  
それに忠実だった

私には  
なるべくして  
なったように  
思えるが……

……

深海棲艦に  
なってしまうほどの  
赤城さんの未練――

赤城がもし  
誰かのことを  
思い残したと  
したら……

それって  
あなたじゃないの？

だったら  
よかったの  
だけけど

でも多分  
そうじゃない

加賀！

だって  
あの人は  
完璧で  
純粹すぎた



あなたから  
旗艦だから  
戦術どおりに  
庇っただけです



どこがよ！  
庇って  
くれるのは  
嬉しいけど  
自分のことを  
まず考えて

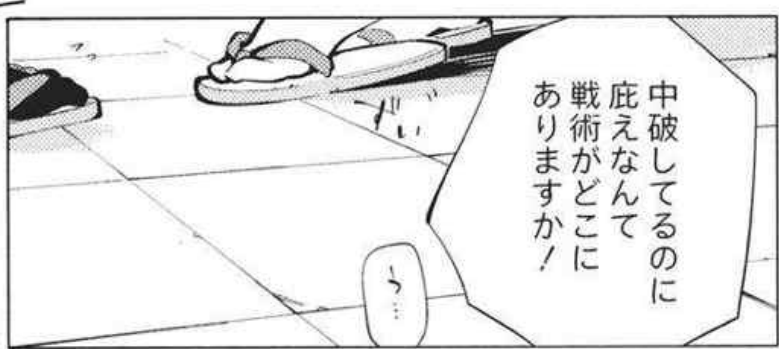


またそんな  
ケガして…  
たいしたこと  
ないわ

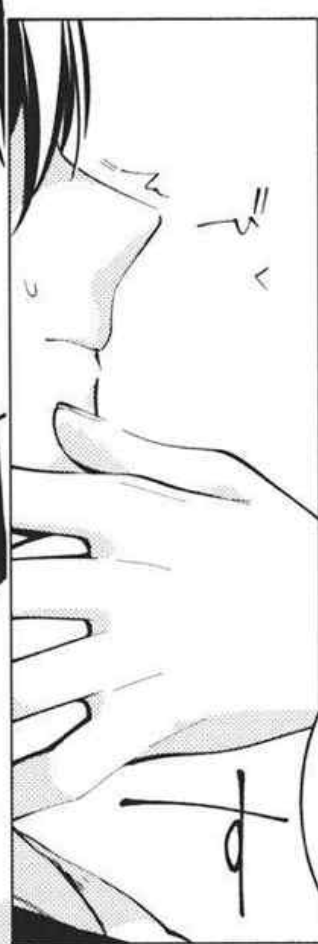


加賀

私  
あなたが  
大好きよ



中破してるのに  
庇えなんて  
戦術がどこに  
ありますか！



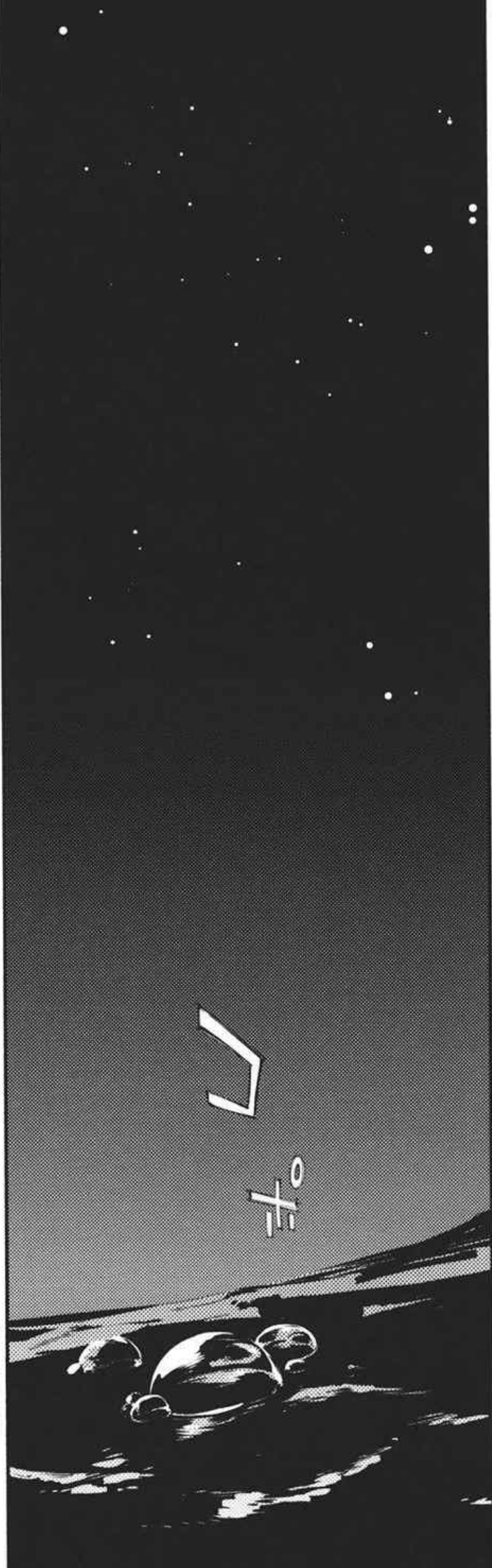
もう…  
私を思っ  
てくれるの  
はわかる  
けれど







◇下巻へ続く





## 凧を俵つ -上-

原 作 艦隊これくしょん～艦これ～  
DMM.com / KADOKAWA GAMES

発 行 日 2014年1月19日 軍令部酒保&砲雷撃戦！よーい！合同演習  
(裏表紙の日付は誤りです)

印 刷 所 STARBOOKS

サークル リレバ 【<http://rireba.net/>】

著 者 仲谷 【[6nakatani0@gmail.com](mailto:6nakatani0@gmail.com)】  
pixiv : 123216 twitter : nakataniiii

協 力 南方純さま シノアサさま ありがとう！！！！

※本書を無断で複製・ネット上へアップロード・二次利用等することは  
著作権法上で認められる例外を除いて禁止します。



「赤城」を、  
違えて。

なご  
よ  
凧を俟つ 下

2014年 春 発行予定



2013.12.30 RIREBA presents  
"Combined Fleet Girls Collection" fanbook